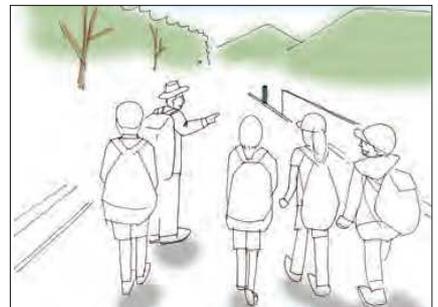




大野城トレイル ～自然と歴史の散策路～ ＜概要版＞



～人々が笑顔で触れ合う交流軸の形成～

平成27年3月
大野城市

目 的

本計画は、にぎわいとやさしさをもったまちづくりを推進し、市民のふるさと意識の醸成にも貢献する「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」を目的とします。

「ふるさと大野城の個性を輝かせるトレイルの形成」

コンセプト

トレイル形成のコンセプトを「本市固有の自然・文化・歴史を介して、人々が笑顔で触れ合う交流軸の形成」とします。

自然・文化・歴史を結び、生涯学習、教育、健康増進、観光交流等の多方面に活かされることで、人々の出会いや交流が育まれるトレイルを「ふるさと大野城を巡る自然と歴史の散策路」として実現します。



トレイルの構成

本市は、「自然と歴史の散策路」の実現を目指し、人々が巡り、触れ合う「散策路」と、トレイルを巡る人々が集まり、利用できる「基点」をバランスよく配置します。

1) 散策路

ふるさと大野城の自然・文化・歴史を楽しむことができる道路や遊歩道等を結ぶものです。

生涯学習、教育、健康増進、観光交流等への活用を考慮し、トレイルの連続性を高める案内誘導の充実や環境整備等に取り組みます。

2) 基点

トレイルを巡る人々が、基本的に自由に利用できる市内の公共施設等を「基点」と位置づけます。

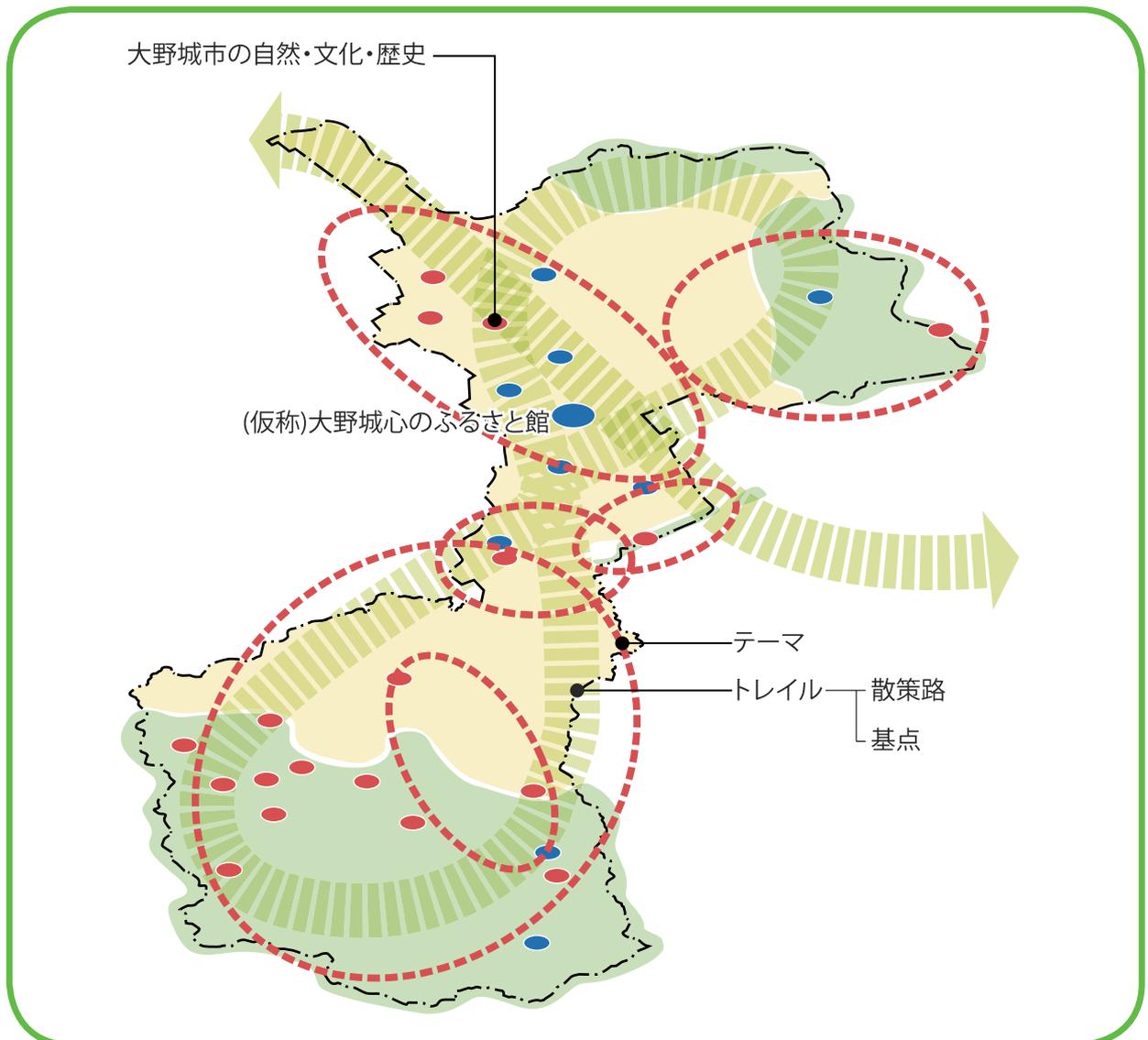
トレイルの起点に位置づけた公共施設等は、多くの人々にふるさと大野城の個性を伝える情報発信や施設利用等の場として、積極的に公開活用します。



コミュニティセンター

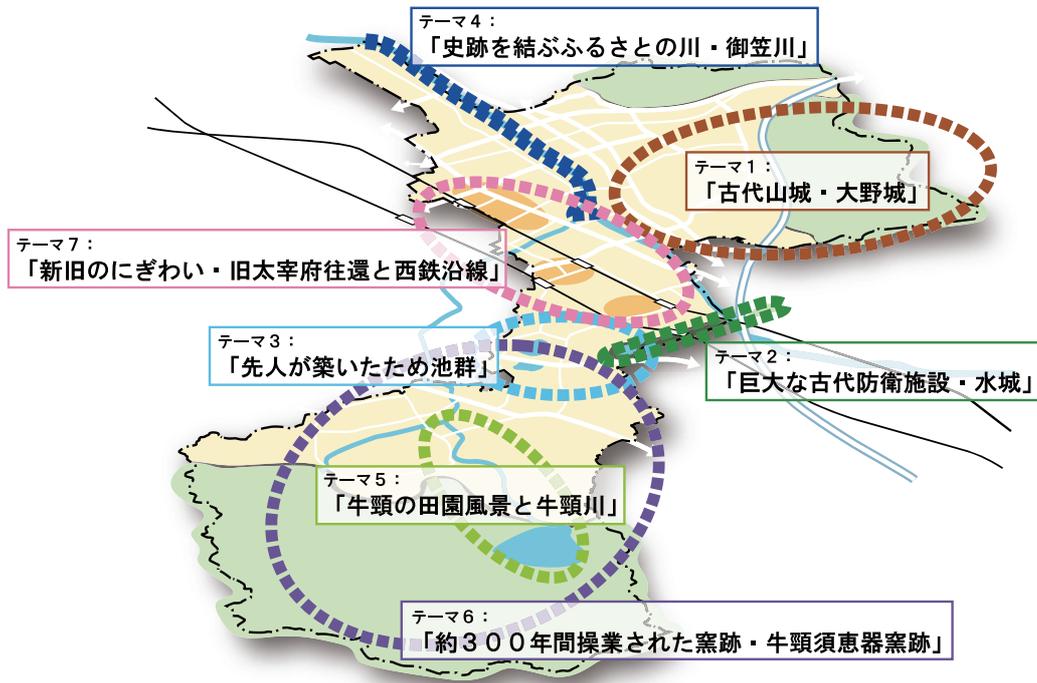


まどかひあ



トレイルのテーマ

ふるさと大野城を巡る“自然と歴史の散策路”、その見どころをトレイルのテーマとしてご紹介します。



テーマ1：「古代山城・大野城」（山城ルート）

大野城は「日本書紀」に記される日本最古の山城です。市名の由来にもなっています。平成27年には築城1350年を迎えます。

大野城が築かれた四王寺山を目印に、市街地から登山道（「仮称」歴史をつなぐ路）へ歩みを進め、ふるさと大野城に刻まれた悠久の歴史をお楽しみ下さい。



大野城が築かれた四王寺山

テーマ2：「巨大な古代防衛施設・水城」（水城跡ルート）

水城は「日本書紀」に記される巨大な古代防衛施設です。現在、「国指定特別史跡水城跡」として親しまれています。平成26年に築造1350年を迎えました。

緑に包まれた巨大な防衛施設には見どころも盛りだくさんです。現地を歩いて、古代防衛施設をお楽しみ下さい。



水城跡

テーマ3：「先人が築いたため池群」（ため池ルート）

上大利地区には比較的多くのため池が残されており、これらのため池は、上大利村、下大利村、白木原村等に農業用水を確保するため築かれたものです。三兼池をはじめ市民の憩いの場として整備されたため池も見られます。ため池を巡り、ため池を大事にしてきた先人に思いを馳せるのもふるさと大野城の楽しみと考えます。



三兼池公園

テーマ4：「史跡を結ぶふるさとの川・御笠川」（御笠川ルート）

御笠川は、宝満山を源とし、博多湾に注ぐ二級河川です。山田2丁目にある「御笠の森」がその名の由来です。桜の並木に沿って上流に行くと、水城跡から大宰府政庁跡や太宰府天満宮等を訪れることができます。

御笠川を中心に市内外に点在する史跡を巡り、本市の歴史や文化に想いを馳せてみませんか。本市の成り立ちがより深く理解できると考えます。



御笠川

テーマ5：「牛頸の田園風景と牛頸川」（田園と牛頸川ルート）

市街化が進展した市内において、唯一牛頸川上流に地形・地質を生かした田園地帯が約1kmにわたり残されています。牛頸川沿いの農地は、大野城市の農耕文化を感じることでできる貴重な場所です。

農地を巡り、ふるさと大野城市の原風景をお楽しみ下さい。



彼岸花が咲く田園

テーマ6：「約300年間操業された窯跡・牛頸須恵器窯跡」（牛頸須恵器窯跡ルート）

牛頸須恵器窯跡は大野城市南端に位置する牛頸山の北麓に位置しています。窯跡の分布は、上大利と牛頸地区を中心に春日市・太宰府市の一部を含む東西約4km、南北約4.8kmの範囲に広がり、12カ所が国史跡に指定されています。

いこいの森を基点に牛頸須恵器窯跡を巡り、ふるさと大野城の古代文化をお楽しみ下さい。



小田浦窯跡群（79地点）

テーマ7：「新旧のにぎわい・旧太宰府往還と西鉄沿線」（往還とにぎわいルート）

旧太宰府往還（旧日田街道）は江戸時代、博多と日田を結ぶ主要な道であり、多くの人々の往来があったと考えられます。旧太宰府往還に沿って寛延3（1750）年に整備された新川は、主に川舟による物流に利用されていました。今は埋め立てられています。今は埋め立てられていますが、新川緑地帯として親しまれています。

一方、西鉄天神大牟田線では、線路の高架化が進められています。沿線の商店街等を含めた新たなにぎわいの創出が期待されています。

旧太宰府往還や西鉄沿線の商店街を巡り、新旧の賑わいをお楽しみ下さい。

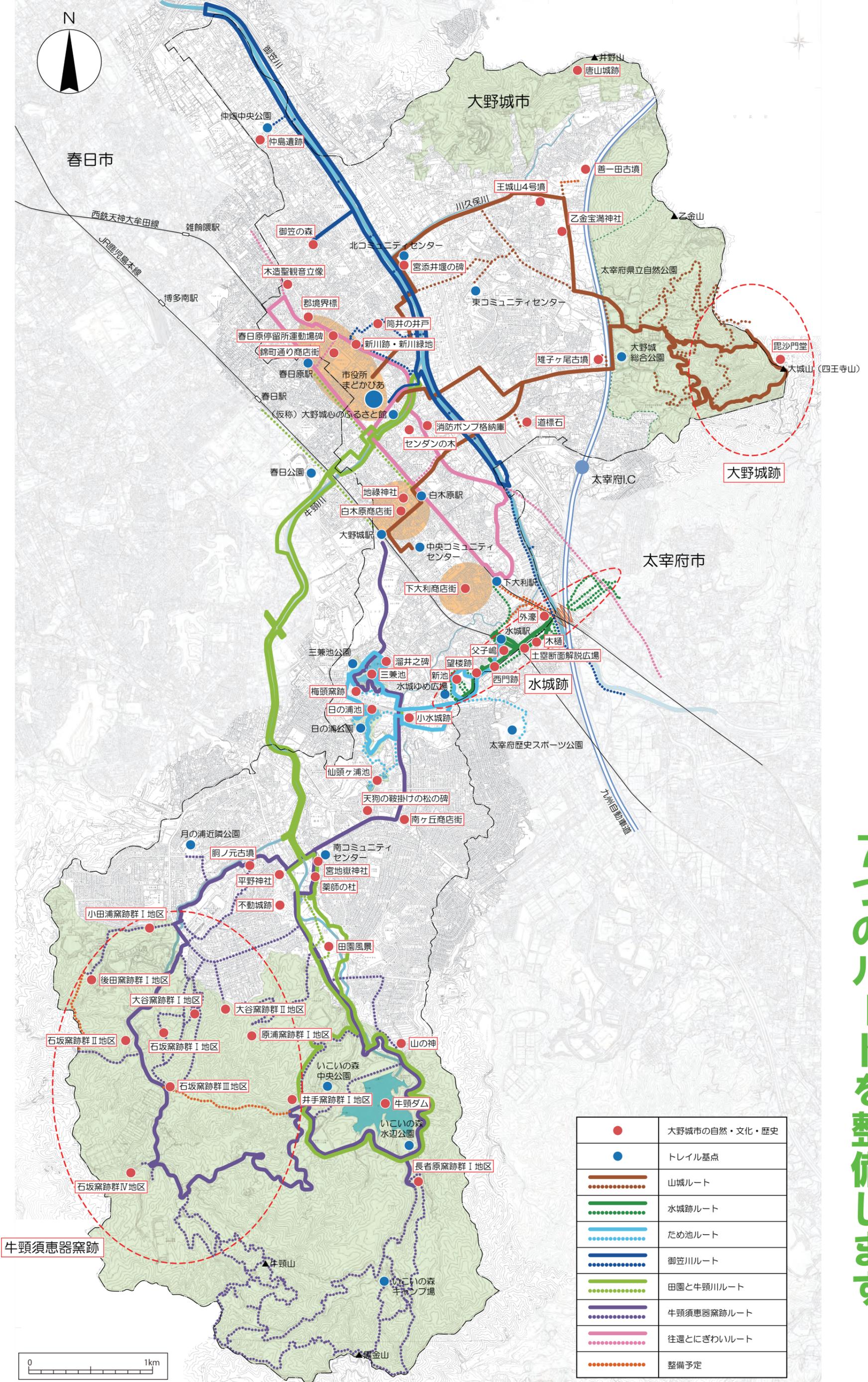


水城大堤と日田街道（大正5年頃）



シャッターアート（錦町通り商店街）

大野城トレイル ～自然と歴史の散策路～ <総括図>



●	大野城市の自然・文化・歴史
●	トレイル基点
—	山城ルート
—	水城跡ルート
—	ため池ルート
—	御笠川ルート
—	田園と牛頸川ルート
—	牛頸須恵器窯跡ルート
—	往還とにぎわいルート
—	整備予定

7つのルートを整備します。

トレイル整備のイメージ

より多くの人々に親しまれるトレイルの実現を目指し、トレイルを結ぶハード事業（サイン整備や環境整備等）とふるさと大野城を伝えるソフト事業（マップ作成やイベントの開催等）に取り組み、人々の出会いや交流を育みます。

1) 案内・誘導・解説サインの整備

トレイルの基点に総合サイン、散策路に誘導サインや路面標示サイン、トレイルの見どころとなる大野城市の自然・文化・歴史に解説サインを設置します。

①トレイルの基点に設置する総合サイン

トレイルの基点に設置する総合サインは、トレイルの解説やルートの紹介等を行うサインです。トレイルを巡る人々のスタート場所として、トレイルの基点に位置づけた公共施設等の分かりやすい、集合しやすい場所等に設置します。



②トレイルの誘導に関する誘導サイン

散策路に設置する誘導サインは、トレイルを巡る人々を円滑に誘導するサインです。トレイルのルート沿いに適宜配置します。



③トレイルを示す路面標示サイン

散策路に設置する路面標示サインは、トレイルを巡る人々にルートから外れていないことを示すサインです。ルートを見失いそうな幹線道路を渡る横断歩道の手前等に設置します。



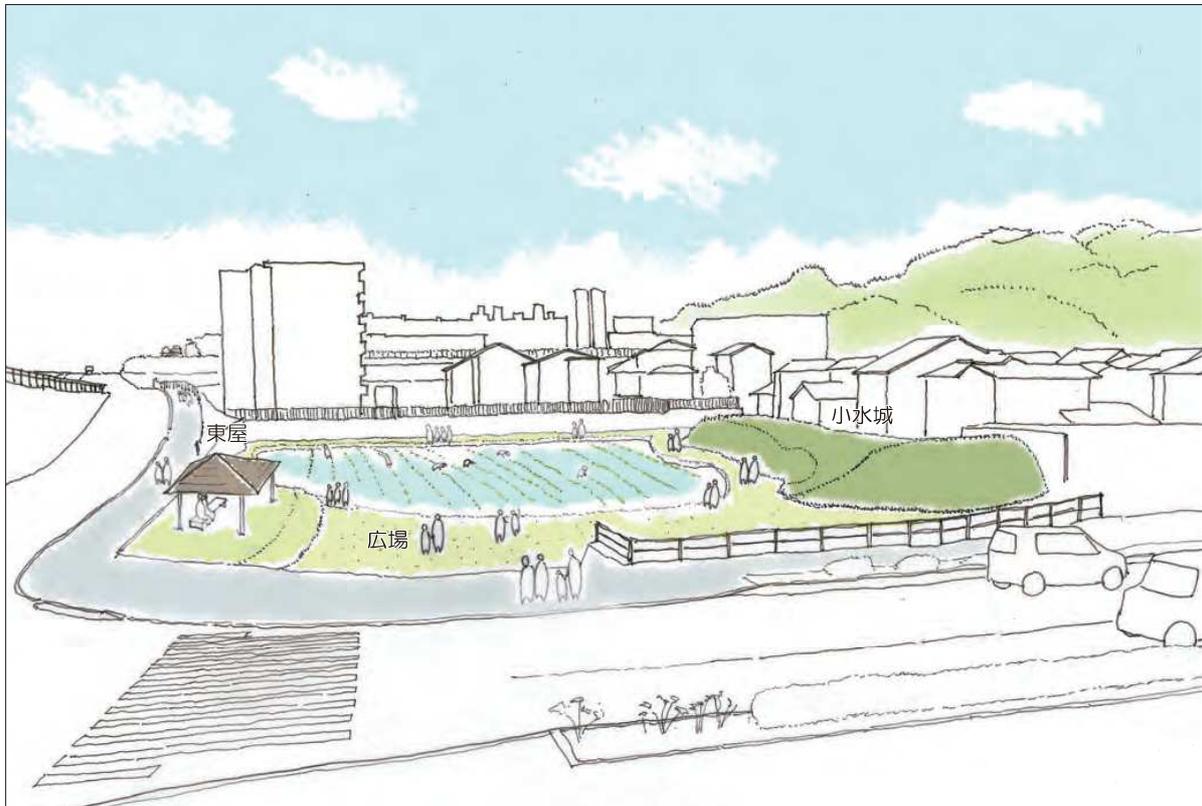
④大野城市の自然・文化・歴史に関する解説サイン

大野城市の自然・文化・歴史に関する解説サインは、それらにまつわる由来、物語等を写真や図を交えて分かりやすく伝えるサインです。解説文の内容を海外からの来訪者にもわかりやすく伝えるため、QRコード等を活用した多言語に対応したものとします。

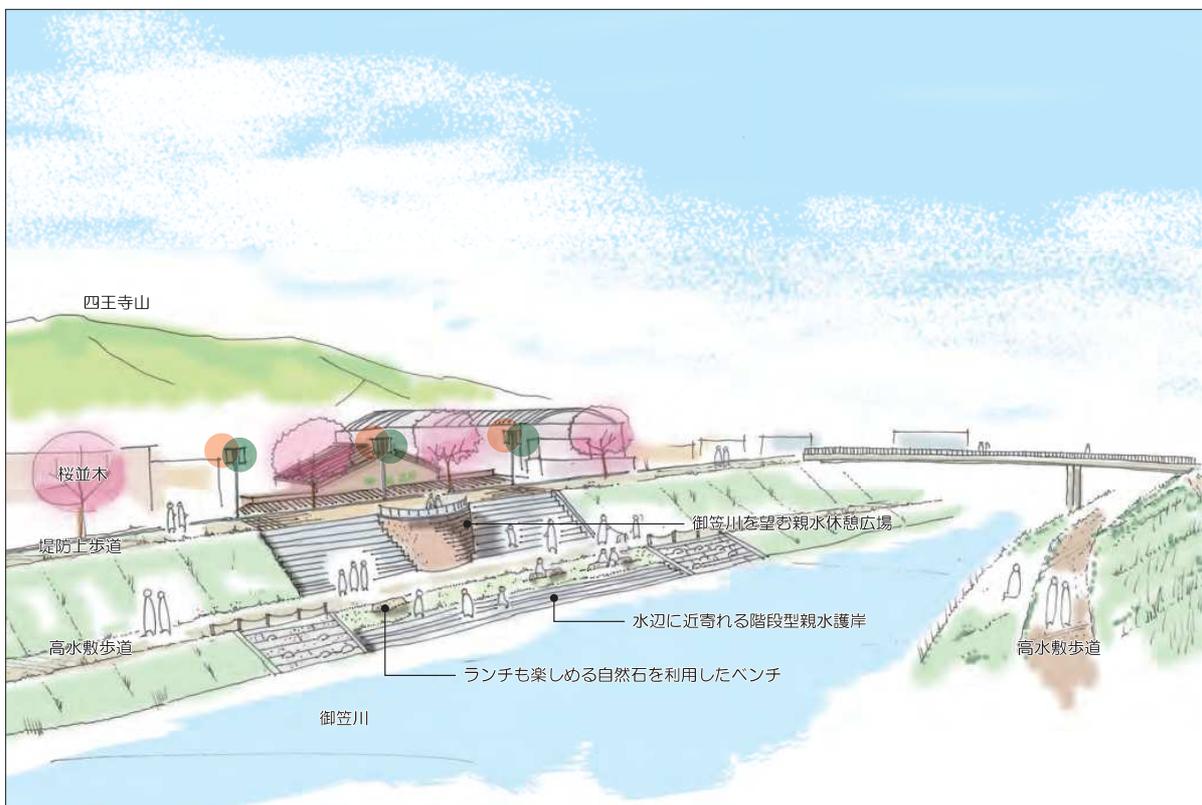


2) 環境整備

自然・文化・歴史を生きし、トレイルのルートをより魅力のある空間にするため、広場・歩道等の環境整備に取り組みます。



小水城跡の整備イメージ



御笠川の親水空間整備イメージ

整備プログラムの検討

整備プログラムでは、市が主体となって取り組むトレイル関連の整備について整備計画（スケジュール）、概算事業費を検討します。

1) 整備計画（スケジュール）

整備については、平成 27 年度に全体の実施設計を行い、各トレイルのルートについて段階的に整備していきます。

現案としては、山城ルート・水城跡ルート・ため池ルートを平成 27 年度に着手、御笠川ルート・往還と賑わいルートを平成 28 年度に着手、田園と牛頸川ルート・牛頸須恵器窯跡ルートを平成 29 年度以降に着手する予定です。

他方、環境整備については、JR 水城駅前歩道整備を平成 27 年度に着手、小水城跡の周辺環境整備を平成 28 年度に着手する予定です。

水城跡、牛頸須恵器窯跡、（仮称）歴史をつなぐ路等については、個別に整備や活用に関する計画が策定されています。これらについては、各々の計画に基づき整備等が行われます。

項 目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度以降
ハード事業	実施設計			
	ルート整備			
	→山城ルート			
	→水城跡ルート			
	→ため池ルート			
	→御笠川ルート			
	→往還とにぎわいルート			
	→田園と牛頸川ルート			
	→牛頸須恵器窯跡ルート			
	JR 水城駅前の整備			
小水城跡周辺の環境整備				
ソフト事業	トレイルマップの作成 （ルート整備に合わせて作成）			
	まち歩きイベントの開催 （ルート整備に合わせて開催）			
	トレイルガイドの育成			

大野城トレイル ～自然と歴史の散策路～
〈概要版〉

平成 27 年 3 月

編集発行：大野城市建設部都市計画課
福岡県大野城市曙町 2 丁目 2 番 1 号